

特殊詐欺の認知状況（令和元年5月末） ～ 架空請求詐欺被害が多数 ～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（令和元年5月末現在）

- 被害認知件数は**12件**（前年同期比－9件）
- 被害額は**約1億5,370万円**（前年同期比＋約1億1,870万円）
- 架空請求詐欺が多数（12件中9件）

2 令和元年5月の認知状況

- 被害認知件数は1件（前年同月比－3件）
- 被害額は17万円（前年同月比－約490万円）
- 手口は、融資保証金等詐欺

3 5月の特殊詐欺予兆事案の紹介

【防犯協会を名乗る不審な電話の連続発生】

防犯協会を名乗る男から、県内に居住する高齢者に対して、

- ・ 防犯協会から電話している
- ・ タイで逮捕された振り込め詐欺グループが持っていた名簿にあなたの名前が載っていたので情報提供している
- ・ 通常、名簿の抹消には手数料がかかるが、今回は無料でできるなどという不審電話が相次いでかかってきました。

これは特殊詐欺などの犯罪の予兆電話と思われるものであり、過去には類似事案として、犯人が電話に出た人に対して、

- ・ あなたの名前が載った名簿があるが、削除するには手数料がかかる

とうそを言い、現金をだまし取る手口も認知しています。

公共機関や民間団体の職員を名乗る者からの電話であっても、お金や個人情報に関する電話は詐欺を疑い、家族や警察に相談しましょう。



4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和元年5月末		
	男性	女性	計
0 ～ 19	-	-	-
20 ～ 29	-	-	-
30 ～ 39	3	1	4
40 ～ 49	-	-	-
50 ～ 59	-	1	1
60 ～ 64	1	-	1
65 ～ 69	1	1	2
70 ～ 79	1	1	2
80 ～ 89	-	1	1
90 ～	-	1	1
合計	6	6	12
うち65歳以上の高齢者	2	4	6

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和元年5月末 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	4
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	-
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	2
電子マネー型（コンビニで電子マネーを購入させる）	5
キャッシュカード受取型	1
収納代行利用型（コンビニ決済）	-
合計	12